

証券コード 7011

# MOVE THE WORLD FORWARD RD

～三菱重工の事業とその戦略について～

経営・財務企画部 IRグループ長  
中村 健一

2017年7月14日

三菱重工業株式会社

1. 会社概要	2
2. 2015事業計画(中期経営計画)の推進状況	10
3. セグメント別主要事業	17
4. 株主還元	34
5. 参考資料	36

本資料は事業内容等に関する情報提供を目的としており、当社株式への投資を推奨するものではありません。また、本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しにのみ依拠して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

# 1. 会社概要

# 1-1. 会社概要

会社名	三菱重工業株式会社
所在地	東京都港区港南2-16-5
代表者名	取締役社長 宮永 俊一 (みやなが しゅんいち)
創立	1884年(明治17年)7月7日
設立	1950年(昭和25年)1月11日
決算期	3月
資本金	2,656億円
発行済株式数	3,373,647,813株
上場証券取引所	東京、名古屋、札幌、福岡
単元株式数	1,000株
株主数	281,648人
グループ会社(連結)	232社(国内 74社、海外 158社)
社員数	連結:82,728人 単独:16,824人



本社ビル(品川)  
[撮影 木田勝久/FOTOTECA]



取締役社長 CEO  
宮永 俊一

(2017年3月末時点)

# 1-2. 取締役

## 監査等委員でない取締役6名



**大宮 英明**  
取締役会長



**宮永 俊一**  
\*取締役社長、CEO



**小口 正範**  
\*取締役、常務執行役員、  
CFO、  
グループ戦略推進室長



**名山 理介**  
取締役、常務執行役員、  
CTO



**篠原 尚之**  
取締役  
(東京大学政策  
ビジョン研究センター  
教授)



**小林 健**  
取締役  
(三菱商事(株)  
取締役会長)

社外・独立

(\*印は代表取締役)

## 監査等委員である取締役5名



**泉澤 清次**  
取締役  
常勤監査等委員



**後藤 敏文**  
取締役  
常勤監査等委員



**畔柳 信雄**  
取締役  
監査等委員  
(株)三菱東京UFJ  
銀行特別顧問)



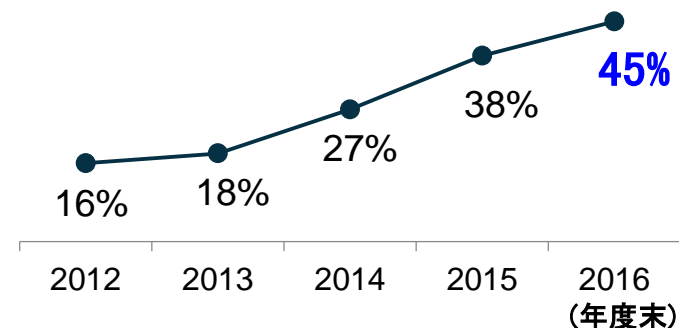
**クリスティーナ・  
アメージャン**  
取締役  
監査等委員  
(一橋大学大学院商  
学研究科教授)



**伊東 信一郎**  
取締役  
監査等委員  
(ANAホール  
ディングス(株)  
取締役会長)

社外・独立

## 【社外取締役比率の推移】



# 1-3. グローバルネットワーク

## 欧州・中東・ アフリカ **87** 拠点

海外事務所	3
グループ会社	84



Primetals Technologies, Limited / UK

## インド **11** 拠点

グループ会社	11
--------	----



Mitsubishi Heavy Industries-VST Diesel Engines Private Limited (MVDE) / India

## 中国 **46** 拠点

海外事務所	1
グループ会社	45



Mitsubishi Heavy Industries-Haier (Qingdao) Air-Conditioners Co., Ltd. (MHAQ) / China

## 北中米 **56** 拠点

グループ会社	56
--------	----



Mitsubishi Aircraft Corporation America, Inc. / U.S.

## 日本 **184** 拠点

本社	1
支社	4
総合研究所	1
事業所・工場	11
グループ会社	167



名古屋航空宇宙システム製作所 (左)、  
名古屋誘導推進システム製作所  
田代試験場(右)/日本

## アジア **45** 拠点

海外事務所	4
グループ会社	41



Mitsubishi Hitachi Power Systems Asia Pacific Pte. Ltd. (MHPS-AP) / Singapore

## 南米 **11** 拠点

グループ会社	11
--------	----



CBC Indústria Pesadas S.A. (CBC) / Brazil

※グループ会社数は連結会社、非連結会社、関連会社の合計(2017年3月末時点)



三菱史料館所蔵

初代社長

岩崎 彌太郎

三菱重工業 創立 1884年(明治17)

工部省長崎造船局を借受け、造船事業を展開

創立130周年

三菱日立パワーシステムズ発足

3社に分割

3社が合併

日立との製鉄合併

シーメンスとの製鉄合併

1900年

1950年

1964年

2000年

2014年

三菱 創業

1870年(明治3)

造船業興隆

様々な分野の技術導入

国内発電設備拡大

M&Aを含む事業拡大と最適ポートフォリオ指向

長い事業分離の歴史

三菱銀行設立  
1880年

三菱商事設立  
1918年

三菱電機分離  
1921年

キャタピラー三菱設立  
1963年  
三菱自動車分離  
1970年

キャタピラー三菱  
合併の株式売却  
2012年

## 1-5. 企業理念

## 三綱領

所期奉公  
處事光明  
立業貿易

1934年 制定(三菱合資)

## 社是

一、顧客第一の信念に徹し、  
社業を通じて社会の進歩に  
貢献する。  
一、誠実を旨とし、和を重んじて  
公私の別を明らかにする。  
一、世界的視野に立ち、  
経営の革新と技術の開発に  
努める。

1970年 制定

## CIステートメント

三菱重工

この星に、たしかな未来を

MITSUBISHI  
HEAVY INDUSTRIES, LTD.

Our Technologies, Your Tomorrow

2006年 制定

当社は、上記に掲げる社是に従い、たゆみない技術力の強化と研鑽による顧客提供価値の継続的な向上を通じて、地球と人類のサステナビリティ(持続可能性)と、永続的な社会の安定に資するよう、事業に取り組む。



E(環境)、S(社会)、G(ガバナンス)の3つを重視して、活動しています。

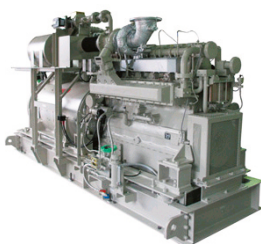


**Environment(環境)**  
 環境装置の提供  
 省エネ製品の提供  
 温室効果ガスの削減  
 廃棄物の排出量削減  
 水の使用量削減  
 など

環境目標の達成に向けて  
 活動をさらに加速



SGP M450



ガスエンジン 本体

(例)高効率ガスコージェネレーション  
 システムの開発



**Social(社会)**  
 地域社会への貢献  
 女性活躍の推進  
 次世代の育成  
 労働安全衛生への配慮  
 など

三菱重工グループらしい活動  
 で社会課題の解決に貢献

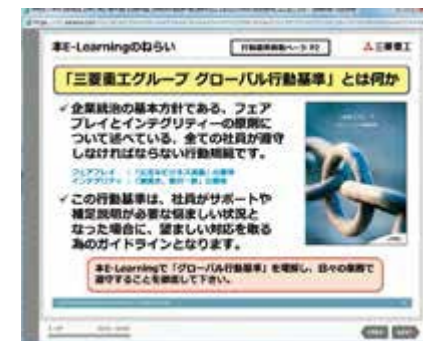


次世代への架け橋  
 三菱重工種子島宇宙教室



**Governance(企業統治)**  
 企業コンプライアンスの遵守  
 経営の透明性  
 社外取締役の設置  
 情報開示  
 など

全世界の拠点でコンプライアンス  
 への意識を高める



2016年度下期に「三菱グループ  
 グローバル行動基準」eラーニング  
 を新規開設

## 【当社が携わった主な施設・製品】



宗谷岬ウインドファーム  
(株)ユーラスエナジー宗谷(稚内市)



北海道電力(株)泊発電所1/2/3号機  
(古宇郡泊村)



白鳥大橋(室蘭市)



札幌駅北口地区  
地域冷暖房施設

### 当社施設:3箇所 (地図中 ★ )

- ・北海道支社(札幌市中央区)
- ・相模原製作所 千歳工場(千歳市)
- ・高砂製作所 岩内工場(岩内郡岩内町)

### 株主数(2017年3月末)

北海道 3,328名

### お取引先

北海道電力(株)  
新日本製鐵(株)  
(株)日本製鋼所 等



いしかり  
(苫小牧西港フェリーターミナル)



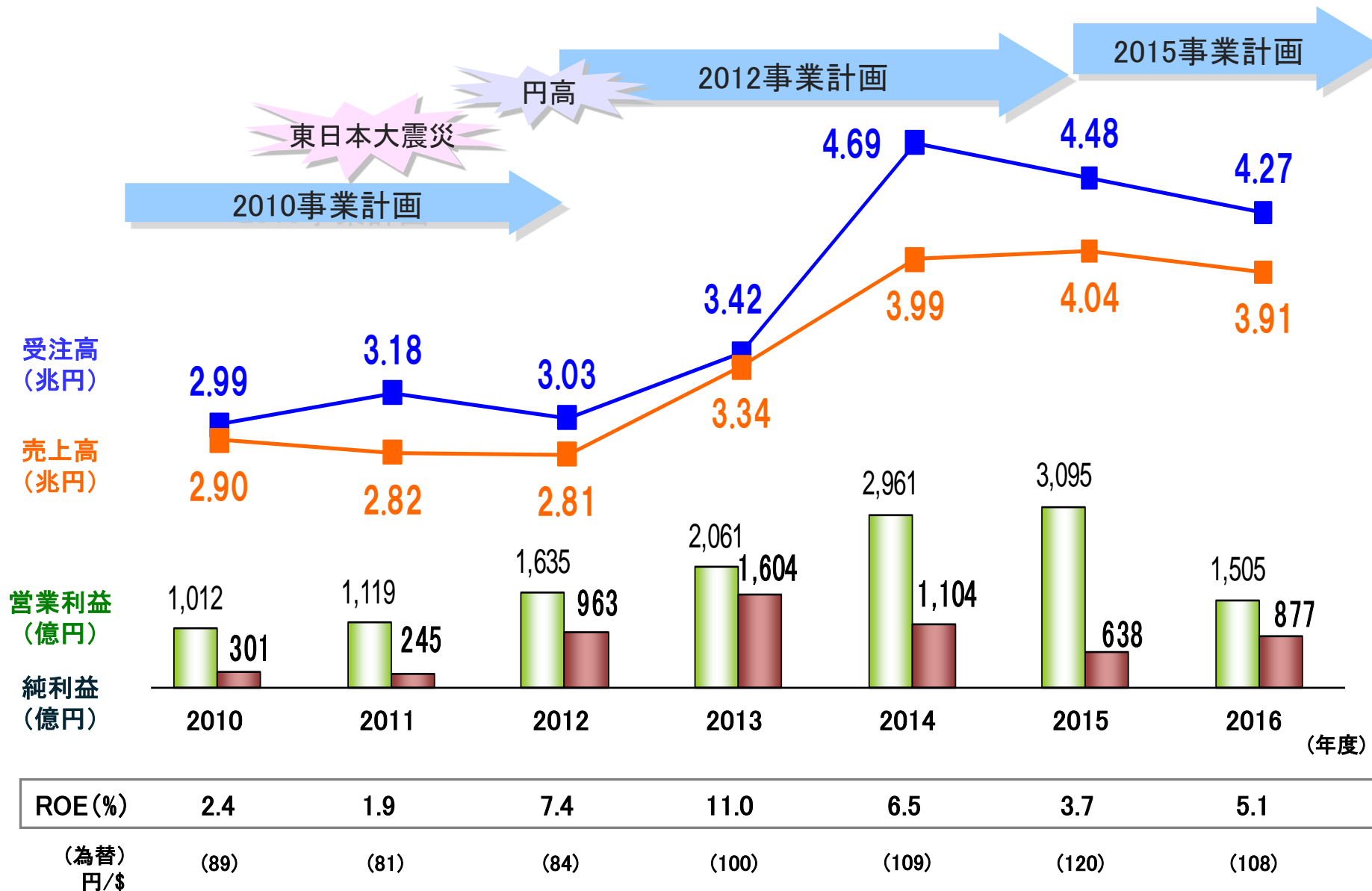
業務用CO<sub>2</sub>  
ヒートポンプ給湯機  
「キュートン」



外気温-25°Cの極寒条件  
においても90°Cの温水が  
供給可能

## 2. 2015事業計画(中期経営計画) の推進状況

# 2-1. 2010年度から2016年度までの業績推移



## 2-2. 2017年度数値計画の見直し(1/2)

(億円)

	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度		
			従来計画	今回見直し	差異理由
<b>受注</b> (海外比率)	44,855 (52%)	42,756 (48%)	55,000 (64%)	45,000 (55%)	<p>世界経済の不透明感や市場見通しを反映</p> <p>MHPS Δ3,500 交通システム Δ2,200 民間機 Δ2,000 PT(製鉄) Δ1,200 コンプレッサ Δ1,100 受注計 Δ10,000</p>
<b>売上</b>	40,468	39,140	50,000	41,500	
<b>営業利益</b> (営業利益率)	3,095 (7.6%)	1,505 (3.8%)	4,500 (9.0%)	2,300 (5.5%)	
<b>純利益*1</b>	638	877	2,000	1,000	
<b>ROE</b>	3.7%	5.1%	10.2%	5.5%	
<b>FCF</b>	75	1,046	2,000	1,000	<p>2016年度発生課題への十分な対策費用等を織り込み</p>
<b>D/Eレシオ</b>	0.53倍	0.44倍	0.4倍	0.4倍	
<b>自己資本比率</b>	30.5%	32.5%	35%	34%	
<b>有利子負債</b>	10,521	9,255	9,000	8,500	
<b>配当(円/株)</b>	12円	12円	右記(注)	*2 12円	

(注)配当性向30%±5%

為替レート

119.7円/\$

108.2円/\$

110円/\$

110円/\$

132.6円/€

118.6円/€

130円/€

120円/€

\*1 親会社株主帰属分利益

\*2 2017年10月1日付で株式併合(10株→1株)を予定していますが、本資料上は2016年度実績と比較するため、当該株式併合を考慮しない場合の1株当たり配当金を記載。

ROE:株主資本利益率

FCF:Free Cash Flow

D/E:有利子負債/純資産

MHPS:三菱日立パワーシステムズ

MRJ:Mitsubishi Regional Jet

PT:Primetals Technologies

## 2-2. 2017年度数値計画の見直し(2/2)

### < セグメント別の売上・営業利益 >

(億円)

	2016年度 実績		2017年度 見通し		
	売上	営業利益	売上	営業利益	16年度からの差異
パワー	14,484	1,081	16,500	(8.8%) 1,450	・ MHPSの売上と利益が一部回復
インダストリー&社会基盤	17,470	500	18,500	(4.6%) 850	・ 商船対策の一部進捗 ・ PT、M-FETのPMI
航空・防衛・宇宙	7,034	9	6,500	(1.5%) 100	・ Tier1対策 ・ MRJ損失幅が一部改善
その他	1,759	107	1,500	100	
消去または共通	△ 1,607	△ 193	△ 1,500	△ 200	
合計	39,140	1,505	41,500	2,300	

MHPS: 三菱日立パワーシステムズ PT: Primetals Technologies M-FET: 三菱重エフォークリフト&エンジン・ターボホールディングス  
MRJ: Mitsubishi Regional Jet PMI: Post Merger Integration(企業や事業の買収・合併後の統合プロセス)

( )内は営業利益率

- ① 構造改革は、事業の選択と集中等、概ね予定通りに進捗
- ② 既発生大型リスク案件(SONGS/客船)は収束
- ③ アセットマネジメントによる資産の流動化/有効活用が進捗

### ④ 2016年度に想定を超える課題が発生、抜本的改善策に着手

- ・ 商船事業 → LNG船/コスト目標未達と工期遅れ (5隻)
- ・ 民間機(Tier1) → 円高と減産加速 (B777・ボンバルディア機)
- ・ MRJ → 開発の更なる遅れと費用の大幅な増加
- ・ MHPS → 事業規模拡大とPMIの両方の遅れ

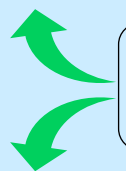
- ・ ドメインの再編による発生課題への諸対策促進 (リソース活用、迅速な意思決定他)
- ・ 緊急対策の推進 (含むMRJ、MHPSの中長期的対策)

上記対策の補強と  
次の事計への先行策

「改革の総仕上げ」として、  
組織・制度を補強

### 2015事業計画の数値目標

- 最終2017年度の数値計画を見直し → 受注: 4.5兆円、純利益: 1,000億円他



- ・ 世界経済の不透明感、市場見通しの反映
- ・ 2016年度発生課題への十分な対策費用等を織り込み

- 当初計画値は、2018事業計画の第2年度の達成を目指す

### 改革の総仕上げ

- 諸改革を2017年度完了し、MRJ等後発施策も2018年度上期目途づけ

### 2018事業計画(持続的成長ステージ)への円滑な

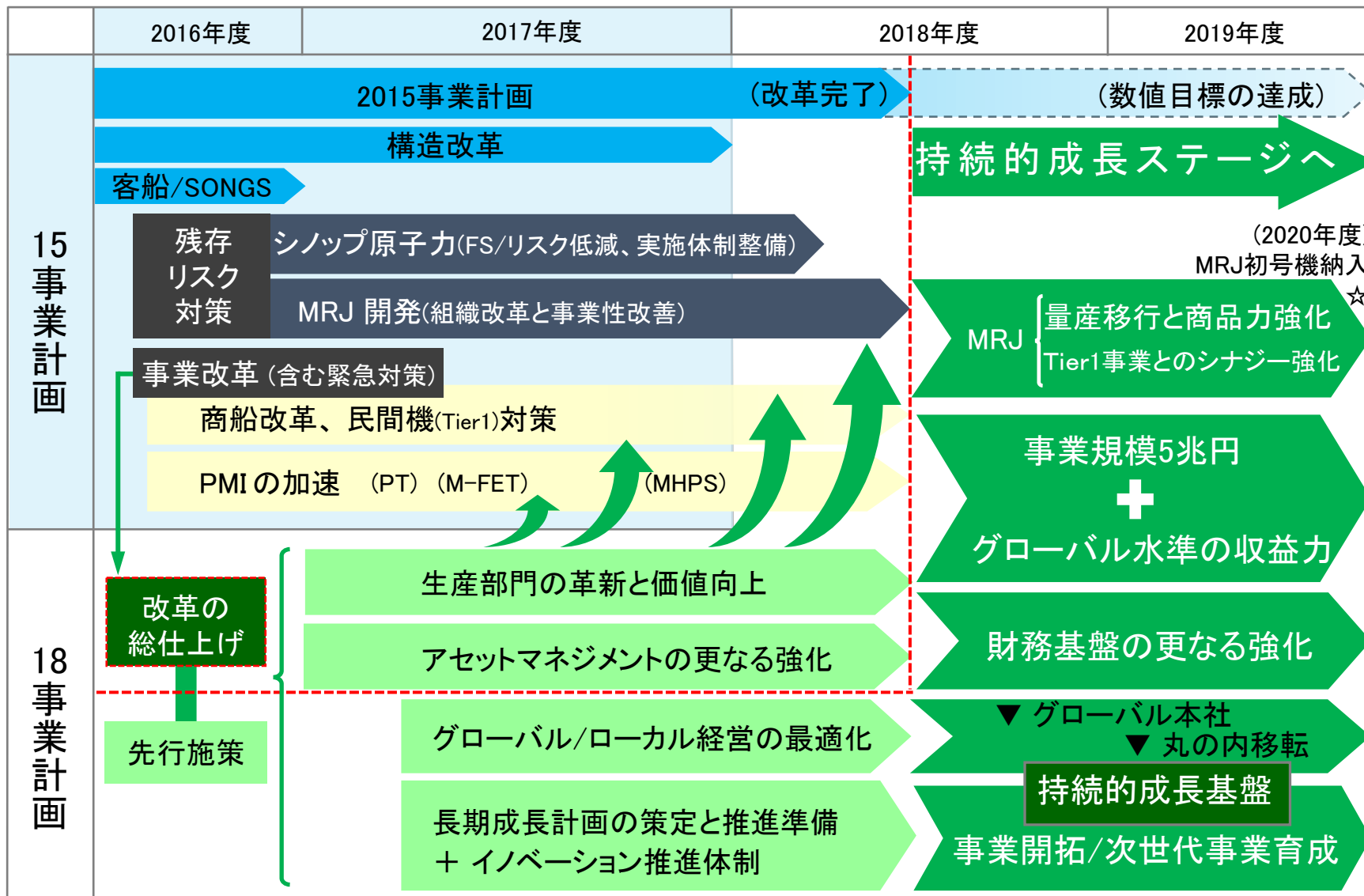
- 当社グループの持続的な成長に有効な先行施策の推進
- 機械/エンジニアリング分野の複合企業としての長期成長計画を策定\*

\* 先端技術と複雑系システムのエンジニアリングを核とした事業構成の長期的な方向性他を本年度に検討

MRJ: Mitsubishi Regional Jet



## 2-4. 2018事業計画に向けて



FS: Feasibility Study (プロジェクトの実現可能性調査) PMI: Post Merger Integration (企業や事業の買収・合併後の統合プロセス)

MRJ: Mitsubishi Regional Jet MHPS: 三菱日立パワーシステムズ PT: Primetals Technologies M-FET: 三菱重工業フォークリフト&エンジン・ターボホールディングス

### 3. セグメント別主要事業

## 航空・防衛・宇宙



H-II Bロケット



(写真提供: ロッキード・マーティン社)  
ペトリオットミサイル

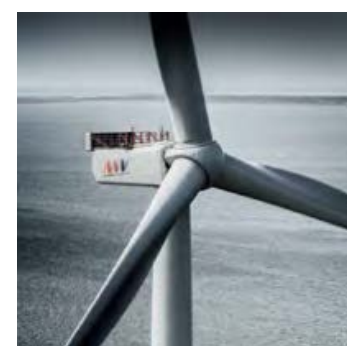


MRJ

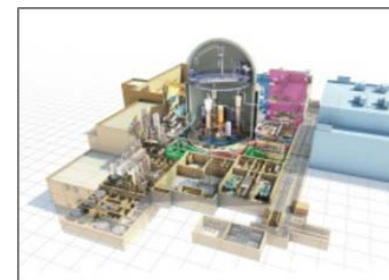
## パワー



ガスタービン



風力発電装置



原子力発電(ATMEA1)

## インダストリー & 社会基盤



ターボチャージャ



製鉄機械



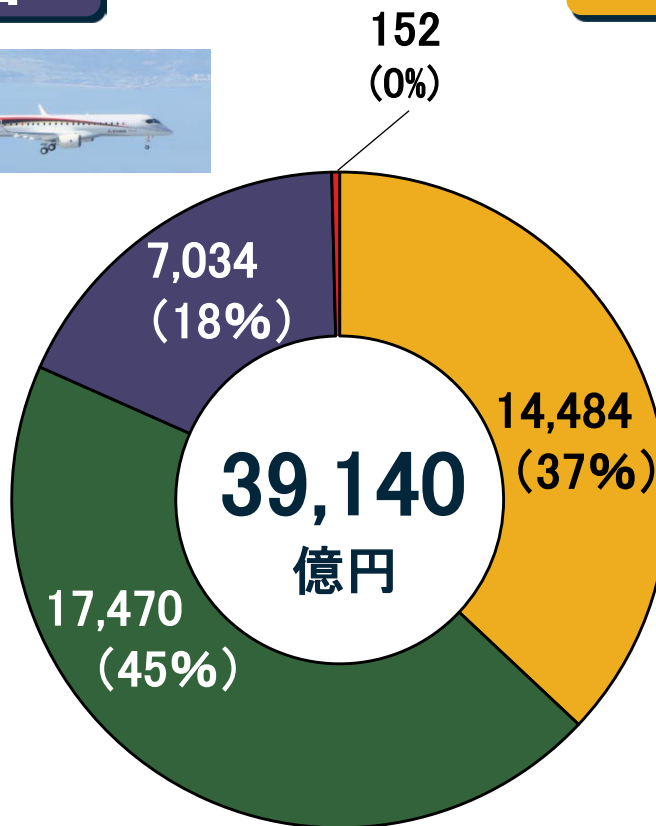
フォークリフト



ポリエチレンプラント



大型フェリー



## 3-2. パワーセグメント

# 3-2. パワー ①事業概要(主要事業別売上高)

## 再生可能エネルギー

### ■ 風力発電装置



※ MVOW売上は持分法のため  
右記グラフには含まず

### ■ ポンプ



## 原子力

- 加圧水型軽水炉(PWR)
- ATMEA1
- 原子燃料サイクル



ATMEA1



加圧水型軽水炉

## 船用機械



MET過給機

## 火力発電

- GTCC(ガスタービンコンバインドサイクル)
- 石炭火力
- IGCC(石炭ガス化複合発電)
  - 航空機エンジン転用型ガスタービン
  - 環境プラント
  - 有機ランキンサイクル



ガスタービン

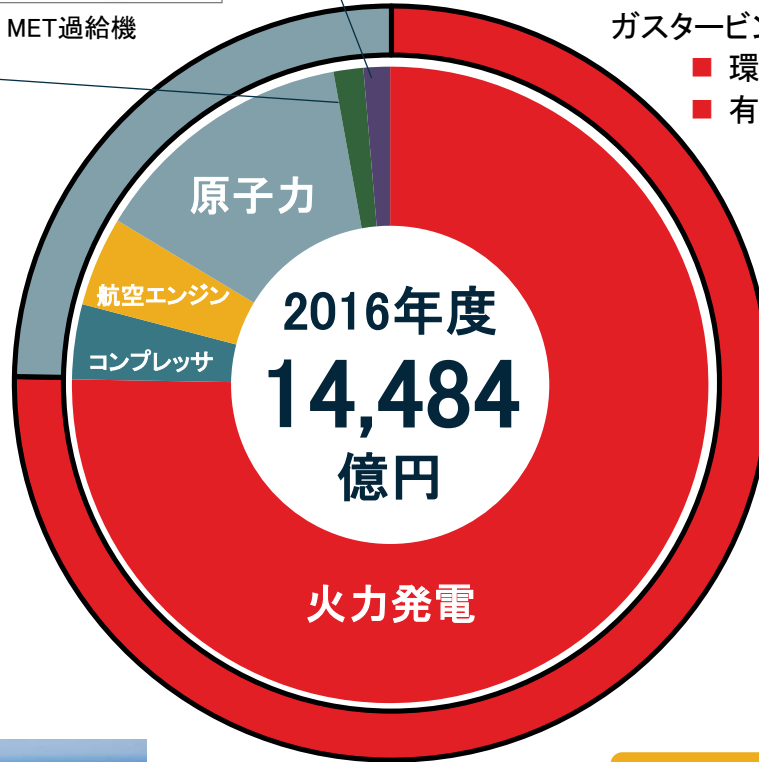


IGCC

## コンプレッサ

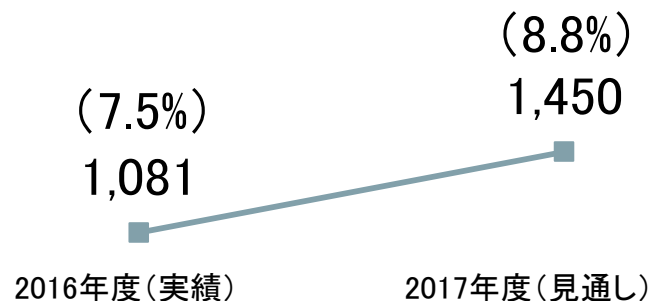


## 航空エンジン



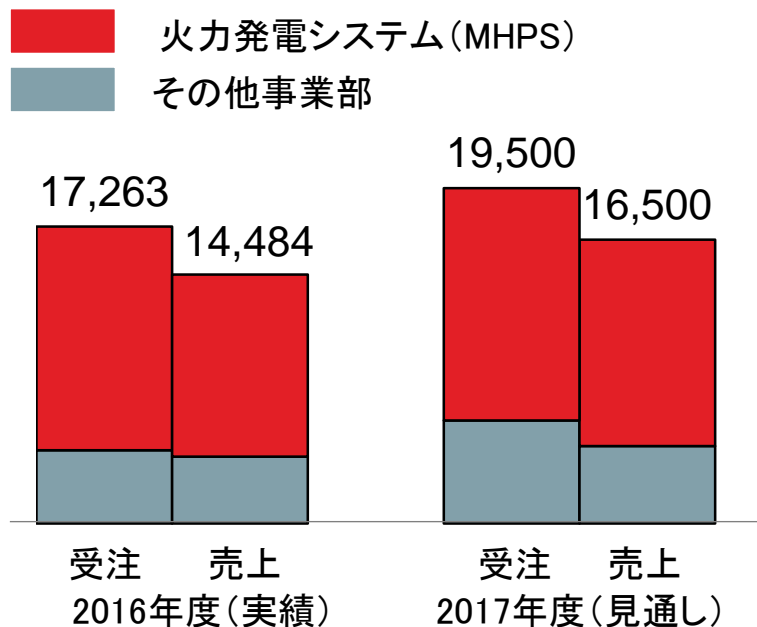
## 営業利益

(億円)



## 受注・売上

(億円)



MHPS: 三菱日立パワーシステムズ

### 2016年度総括

- **受注**  
火力発電事業における海外受注の減速・期ずれ
- **売上**  
国内石炭火力案件の長納期化
- **営業利益**  
10%以上を目指すのが、売上減少やPMIの遅れに伴う事業規模と総資産・固定費のアンバランス発生等により未達

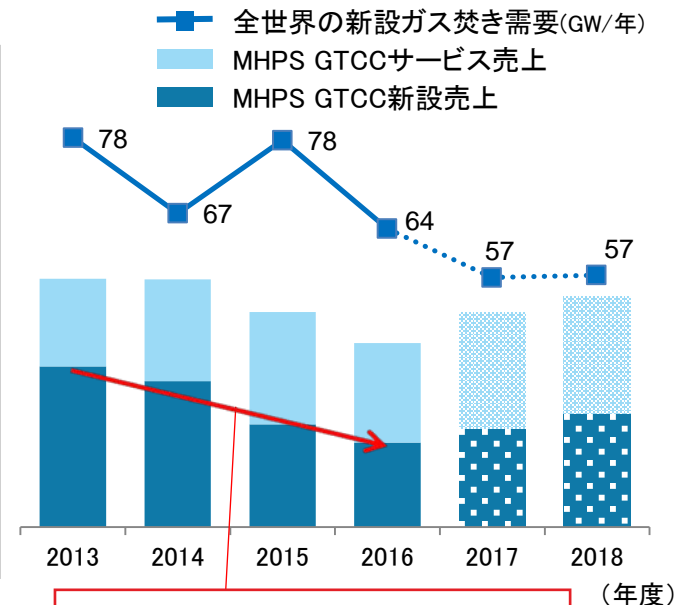
### 2017年度見通し

- **受注**  
原子力、航空エンジン、コンプレッサ等が増加
- **売上**  
石炭火力手持ち工事の進捗による売上増加
- **営業利益**  
売上増加及び固定費・経費削減により増益

## 課題1

- GTCC新設市場は世界的に停滞が当分続く
- サービス事業強化
  - IoT活用等によるLTSA (長期保全) 及び 運転支援サービスの拡大
- 海外情報収集力と案件組成力の強化
  - 海外重点市場\* への人材集中投入
  - 商社連携強化とECAファイナンス活用拡大

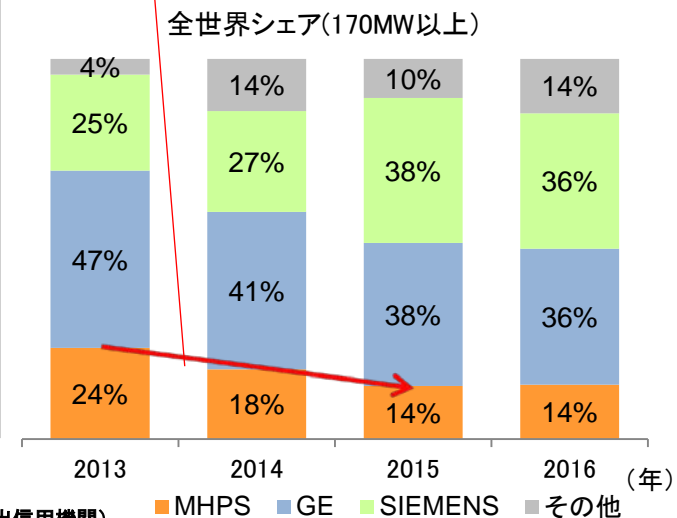
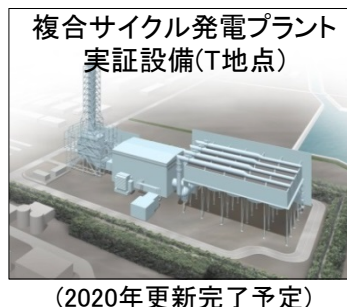
\* アジア  
北中南米  
中東



国内GTCC新設の売上減が影響

## 課題2

- GEの最新機(HAシリーズ)投入による競争激化
- GT高性能機の前倒し投入
  - 1650°C級次世代GTの開発加速
  - 2019年度出荷 (1.5年前倒し)
- コスト競争力強化



GTCC: Gas Turbine Combined Cycle EPC: Engineering, Procurement & Construction (設計・調達・建設)

LTSA: Long Term Service Agreement (長期保守契約) MHPs: 三菱日立パワーシステムズ ECA: Export Credit Agency (輸出信用機関)

## 事業環境

- 欧州では、再生可能エネルギー利用が増大
- 風力発電の売電単価低下傾向が顕著

## 戦略

MHI Vestas Offshore Wind (MVOW) の  
量産基盤確立による事業規模拡大と安定化

## 課題

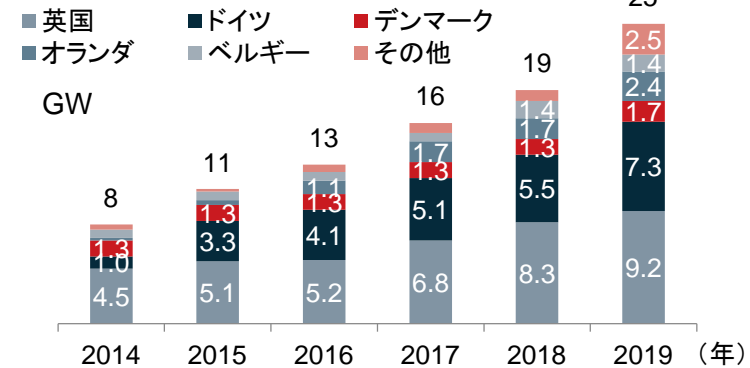
技術力と経済性を強化し競争優位性を確立

## 施策

- 大型機（8MW以上）ニーズに対し既存機改良型の高出力9MW級機を投入  
 （プロトタイプで1日あたり世界最高発電量達成（2016年12月））
- 予防保全知見を活かし、納入機の高稼働率をキープ
- 北米・アジアなど新市場への参入

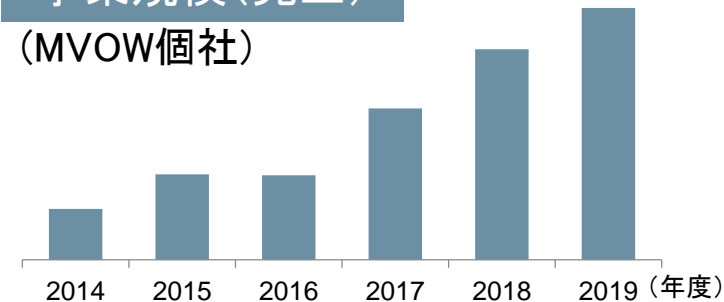


## 欧州洋上風車市場規模



## 事業規模（売上）

(MVOW 個社)





## 3-3. インダストリー & 社会基盤セグメント

産業精密機械



紙工機械 製函機

船舶・海洋



大型フェリー

M-FET

- 物流機器
- ターボチャージャ
- エンジン



ターボチャージャ



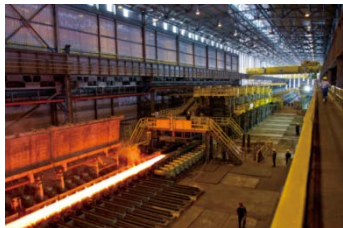
フォークリフト

メカトロ・ITS



有料道路料金收受システム

製鉄機械



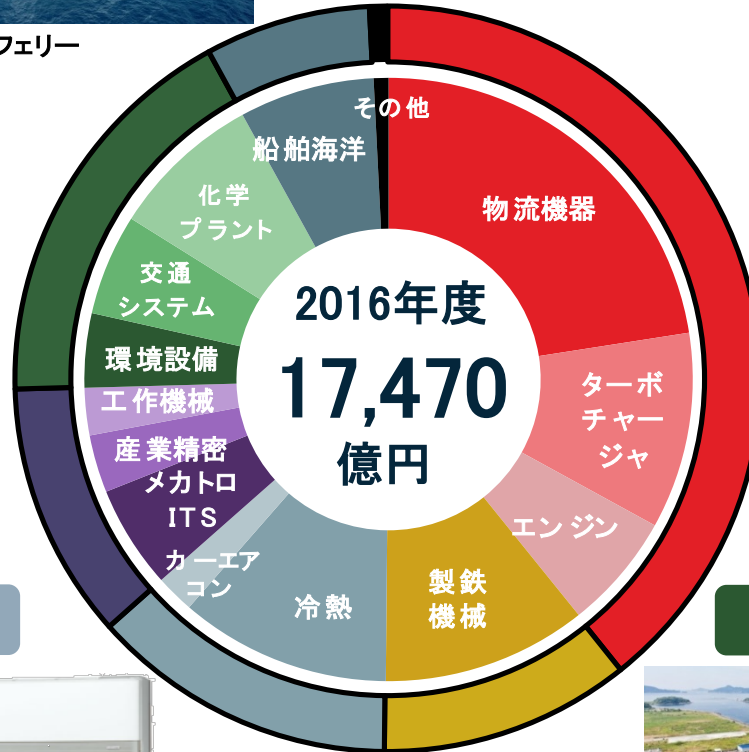
熱間圧延設備

冷熱



家庭用空調

2016年度  
17,470  
億円



化学プラント



ポリエチレンプラント

環境設備



廃棄物処理設備

交通システム



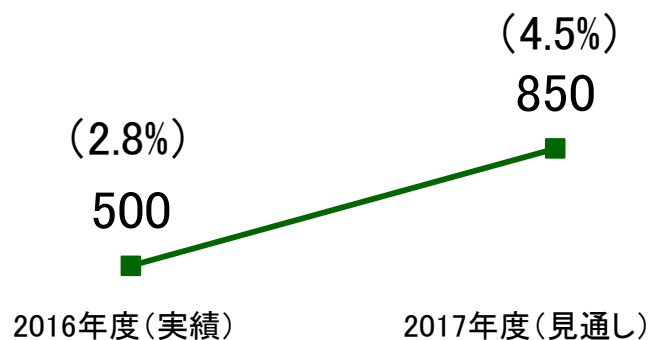
交通システム

M-FET:三菱重工フォークリフト&エンジン・ターボホールディングス

ITS:高度道路情報システム

## 営業利益

(億円)

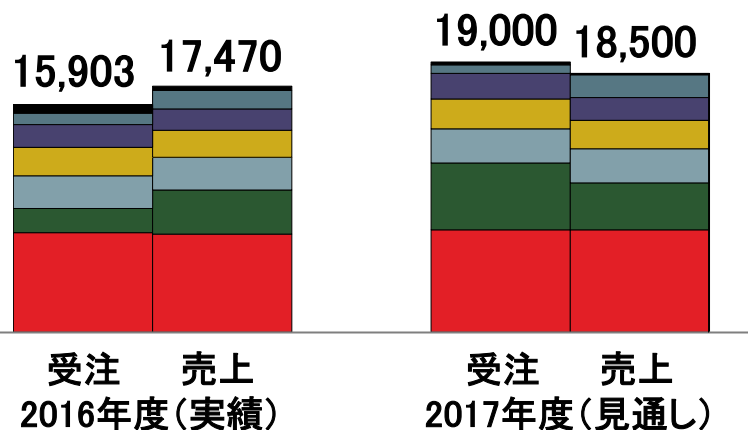


## 2016年度総括

- **受注**  
世界経済の低迷、市場の落ち込みもあり、ユニキャリアの統合効果による増加があるも、前年度に大型案件のあった化学プラントや商船、交通システムは、減少
- **売上**  
製鉄機械の減収あるも、ユニキャリア統合効果、ターボチャージャの規模拡大、交通システムで増加
- **営業利益**  
PMI途上の製鉄機械、商船(LNG船)の採算悪化で減益

## 受注・売上

(億円)



## 2017年度見通し

- **受注**  
エンジニアリング製品を中心に3,000億円増加
- **売上**  
物流機器、ターボチャージャ等の規模拡大等により1,000億円増加
- **営業利益**  
売上増に加え、PMI加速、商船事業の構造改革に取り組み、2016年度から350億円増加の850億円

船舶・海洋

製鉄機械

化学・交通・環境

ムトロ・産業精密

冷熱・カーエアコン

M-FET

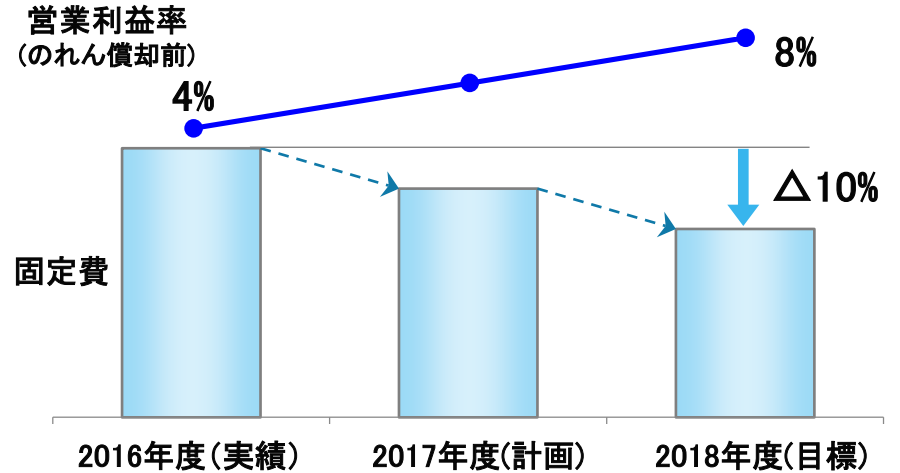
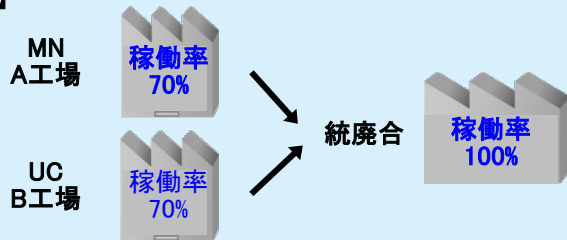
PMI: Post Merger Integration (企業や事業の買収・合併後の統合プロセス)、  
LNG: 液化天然ガス

現PMI計画を前倒し推進中 → MHPSとPTのPMI経験を活かす活動

## 守り PMI加速(MN・UC経営統合)

- 重複機能・拠点の統廃合 → 固定費削減
- 調達強化と工場の生産性向上 → 営利率向上

【統廃合イメージ】



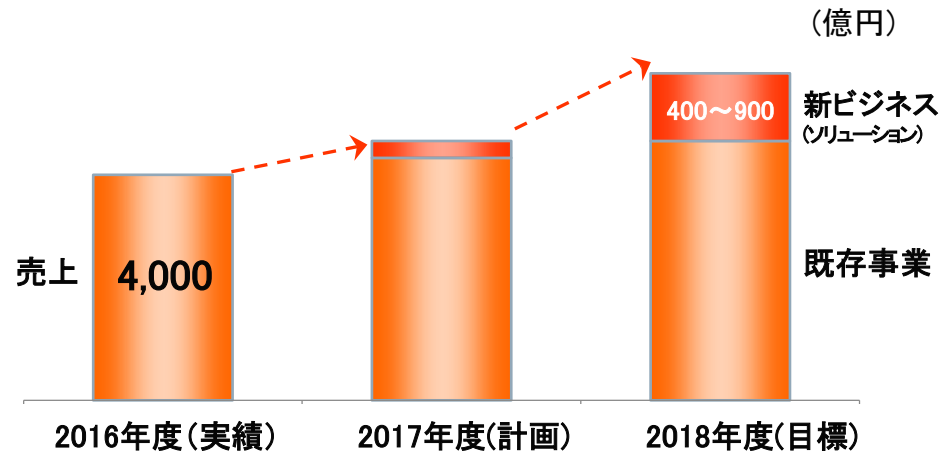
MN : ニチユ三菱フォークリフト、UC: ユニキャリア、  
PMI: Post Merger Integration (企業や事業の買収・合併後の統合プロセス)

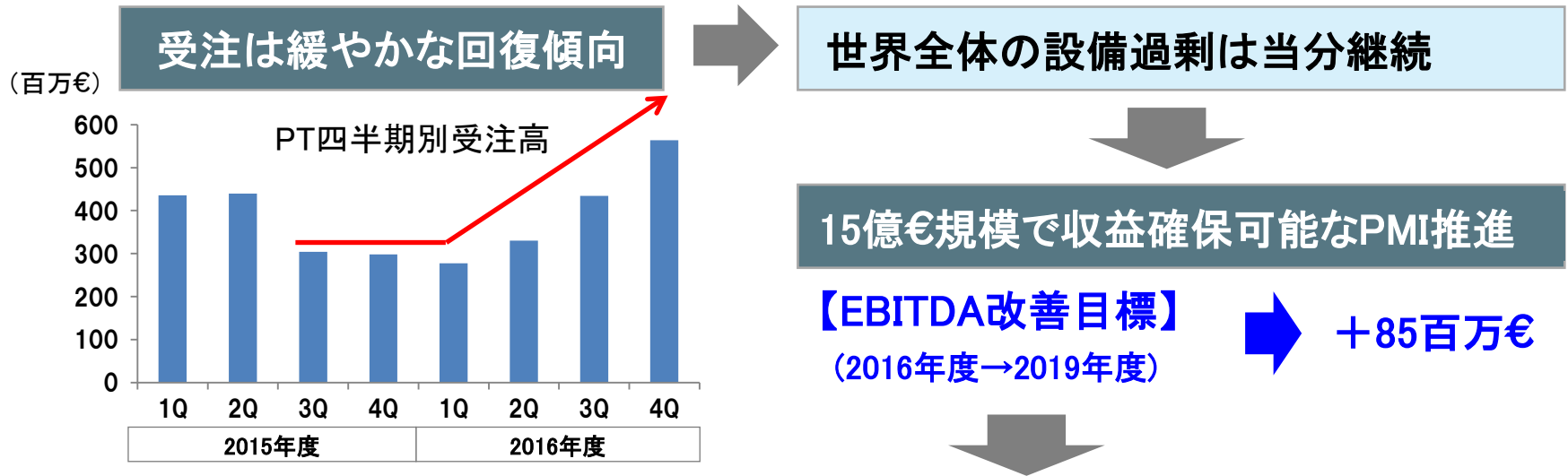
## 攻め 単体事業からソリューション事業へ

- 次世代フォークリフト
  - 無人搬送システム・物流ロボット
  - V2G (Vehicle to Grid) 等
- 売上拡大

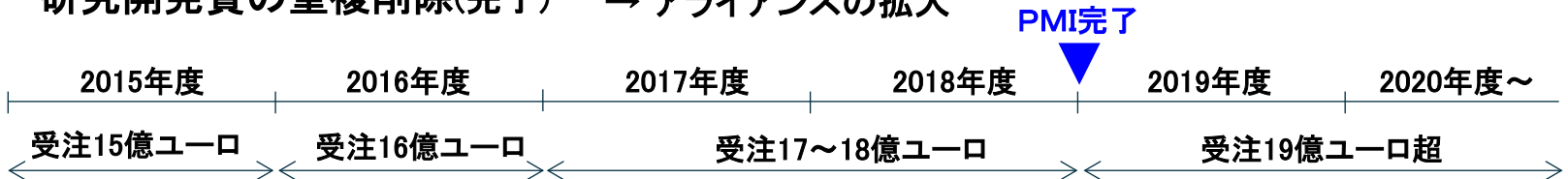


レーザー誘導方式  
無人フォークリフト  
(4月国内販売開始)





- ・ 組織簡素化(完了)
    - 事業セグメント: 10 → 7
    - ファンクション組織: 26 → 9
  - ・ 人員最適化(8,000 → 7,100人)
  - ・ 研究開発費の重複削除(完了)
  - ・ 海外拠点の集約(約40 → 26)
  - ・ シェア拡大 & 成長戦略の推進
    - キーテクノロジー活用度アップ
    - ビジネスモデル変革
    - アライアンスの拡大
- **グローバルトップの地位確立と収益安定化**



PMI: Post Merger Integration (企業や事業の買収・合併後の統合プロセス)

EBITDA: 利払い・税引・減価償却前利益

## 3-4. 航空・防衛・宇宙セグメント

# 3-4. 航空・防衛・宇宙 ①事業概要(主要事業別売上高)

## 防衛・宇宙

- 防衛航空機・飛昇体
- 特殊車両
- 艦艇
- 宇宙機器



SH-60K 対潜ヘリコプター



F-2 戦闘機



10式戦車

(写真提供: ロッキード・マーティン社)  
ペトリオットミサイル



潜水艦「じんりゅう」



護衛艦「あきづき」



H-II B ロケット

## 民間航空機

- ボーイング向け機種
- エアバス・ボンバルディア向け機種等
- MRJ

ボーイング 787



写真提供: Boeing社

当社担当部位:  
複合材主翼ボックス

ボーイング 777



写真提供: Boeing社

当社担当部位:  
後部胴体、尾胴、乗降扉

エアバス A380



写真提供: Airbus社

当社担当部位: 前方・後方貨物扉

ボンバルディア Global5000/6000

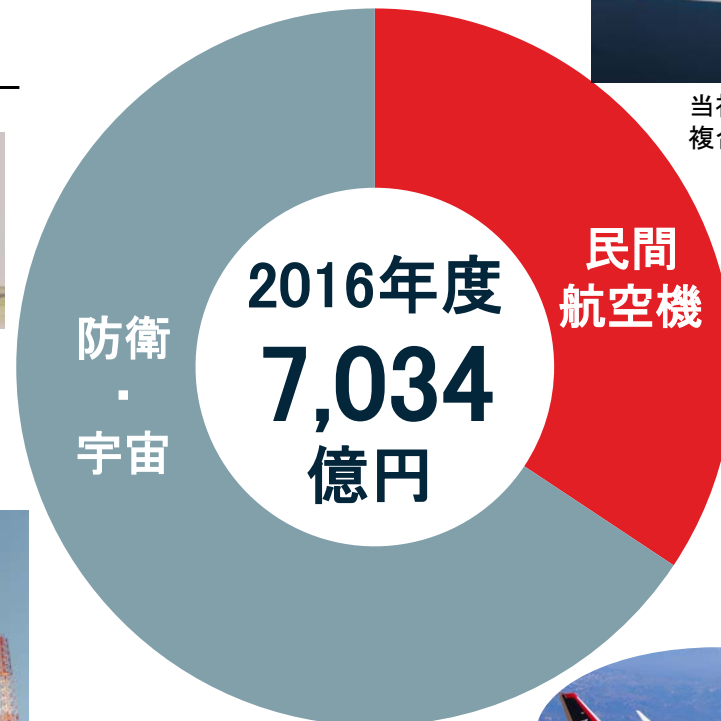


写真提供: Bombardier社

当社担当部位:  
主翼、中胴/中央翼

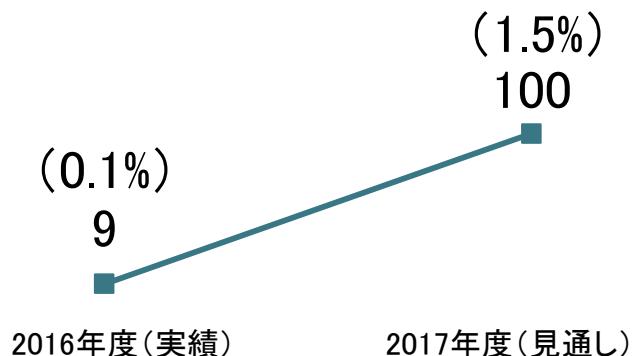


MRJ



## 営業利益

(億円)

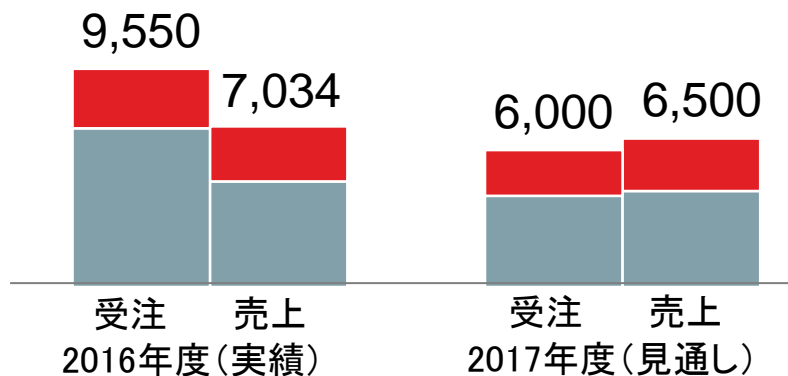
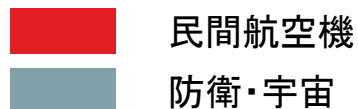


## 2016年度総括

- **受注**  
ペトリオットミサイル、哨戒ヘリコプター等のまとめ買いにより増加
- **売上**  
民間航空機Tier1事業は円高進行等の影響で減少、防衛・宇宙は飛昇体等が減少
- **営業利益**  
民間航空機Tier1事業での円高の進行、顧客の減産、およびMRJ開発費の増加等により減益

## 受注・売上

(億円)

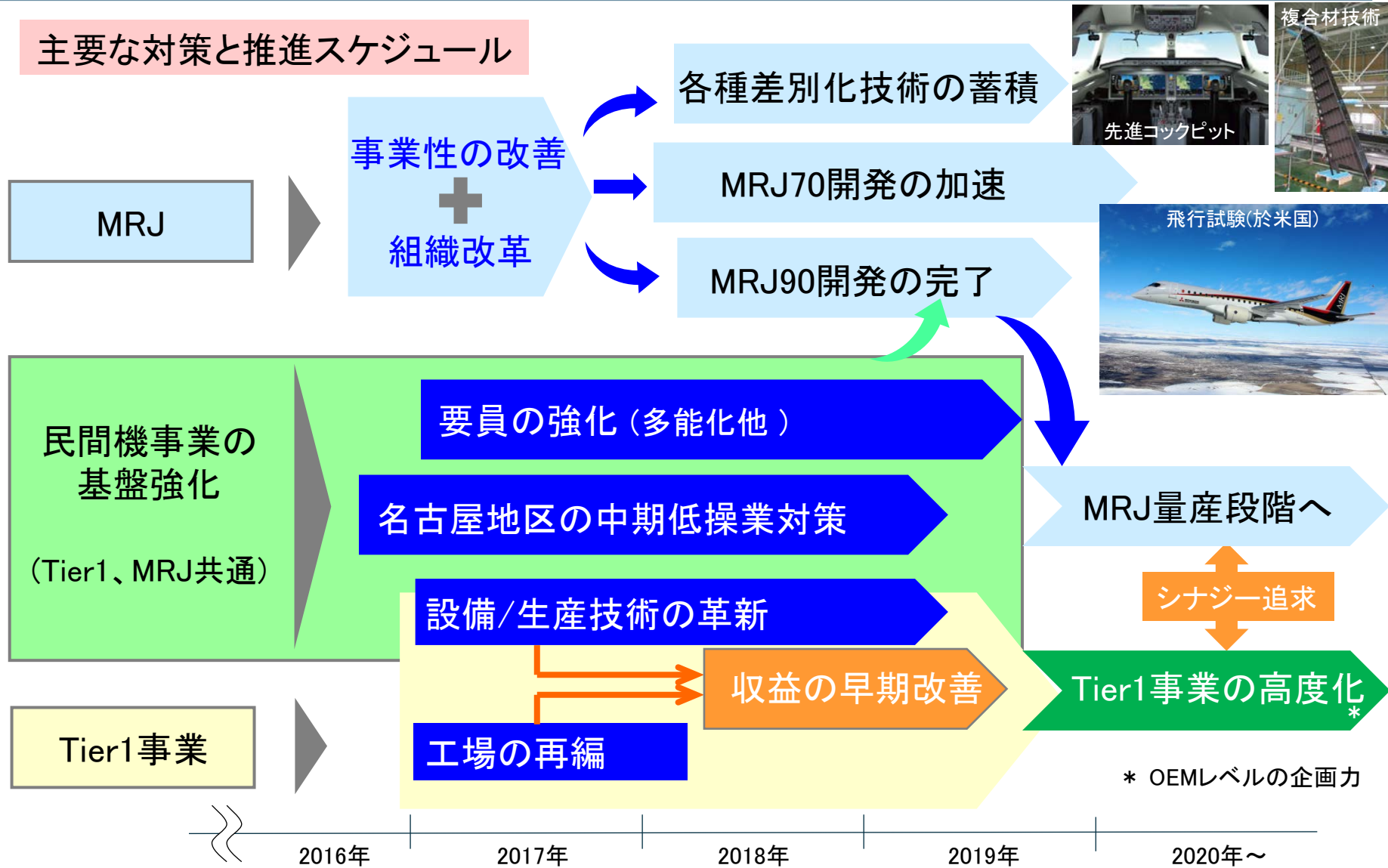


## 2017年度見通し

- **受注**  
防衛・宇宙での2016年度まとめ買い、民間航空機での顧客の減産等の影響を受けて、前年度を下回る見通し
- **売上**  
防衛・宇宙、民間航空機Tier1事業共に前年度規模の売上を確保するものの、全体では微減
- **営業利益**  
MRJ開発費の減少、民間航空機Tier1事業での生産効率性向上、サプライチェーン改革により営業利益は前年度を上回る見通し



### 3-4. 航空・防衛・宇宙 ③民間航空機 (MRJ/Tier1)



MRJ: Mitsubishi Regional Jet    OEM: Original Equipment Manufacturer(他社ブランドでの製品製造会社)

## 防衛 ペトリオットミサイル

### 2016年度成果

- ✓ 2016年度補正予算にて、MSE化契約を受注



MSE : Missile Segment Enhancement (能力向上型PAC-3ミサイル)  
 BMD : Ballistic Missile Defense (弾道ミサイル防衛)

### これからの取り組み

- ✓ MSE化ミサイルの確実な製造・納入
- ✓ 更なるBMD能力向上のための事業提案



MSEミサイル

## 宇宙 ロケット

### 2016年度成果

- ✓ H-II Aロケット3機、H-II Bロケット1機 打上げ
- ✓ H3ロケット第1段/第2段エンジン燃焼試験準備開始。順調に推移。
- ✓ H3受注活動開始



第1段エンジン  
燃焼試験準備状況

### これからの取り組み

- ✓ 高い信頼性とオンタイム打上げで、ブランド力醸成
- ✓ 価格競争力を加えたH3ロケットで、商業/海外の打上げ受注拡大 (国際会議の登壇/展示も活用)



## 4. 株主還元

# 4-1. 配当金

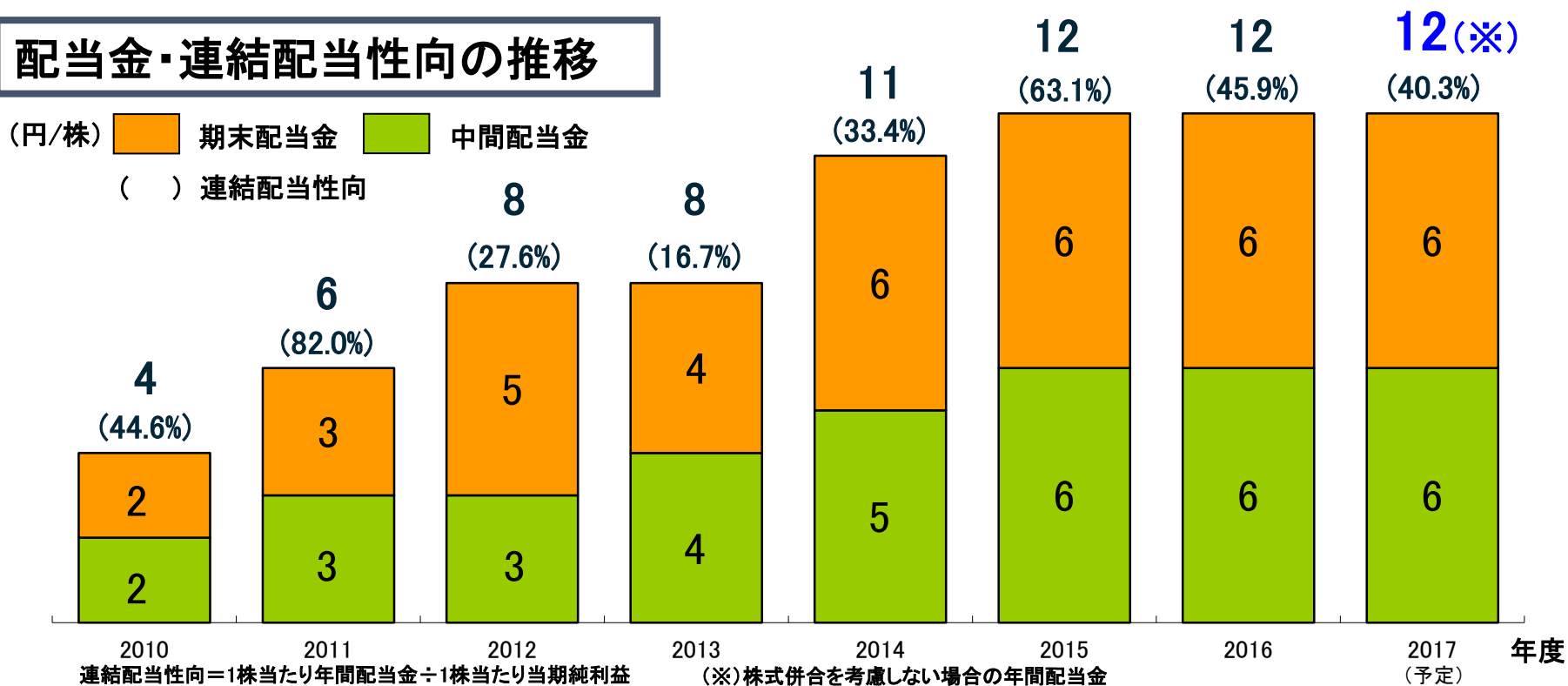
## 配当金

- ・2017年度：年間配当額（予定）12円
- ・配当性向30%±5%

## 株主様向けサービス

- ・株主工場見学会のご招待（2回/年、定員80人/回\*） \*参加者多数の場合は抽選
- ・「三菱みなとみらい技術館」（横浜）、「東洋文庫ミュージアム」（東京）の招待券を贈呈

### 配当金・連結配当性向の推移



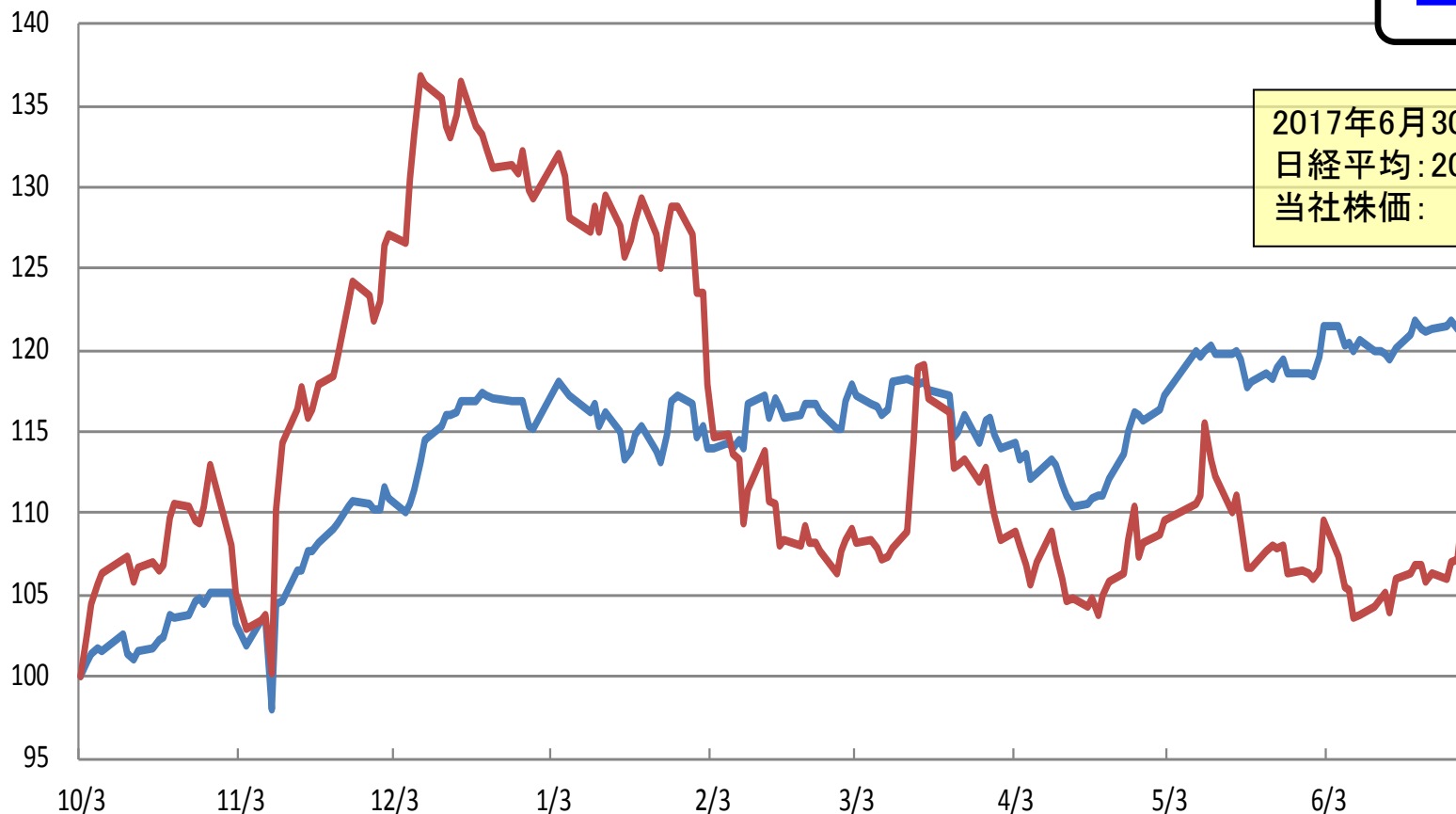
## 5. 参考資料

# 5-1. 当社株価の推移

2016年10月3日=100

## 2016年10月以降の株価推移

三菱重工  
日経平均



2017年6月30日  
日経平均: 20,033.43円  
当社株価: 459.8円

### 〔期間中の変動〕（終値ベース）

日経平均: 16,589.67円(2016年10月3日) ⇒ 20,033.43円(2017年6月30日) **+3,443.76円**

[ 期間中の高値 20,230.41円(2016年6月20日)、安値 16,251.54円(2016年11月9日) ]

当社株価: 412.1円(2016年10月3日) ⇒ 459.8円(2017年6月30日) **+47.7円**

[ 期間中の高値 563.4円(2016年12月8日)、安値 412.1円(2016年10月3日) ]

## 5-2. 三菱みなとみらい技術館

明日を担う青少年達が「科学技術」に触れ、夢を膨らませる場となることを願い、1994年6月に開設。航空宇宙、海洋、環境・エネルギー等をテーマにした参加体験型展示。

所在地:横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号  
(三菱重工横浜ビル内)

アクセス:みなとみらい線「みなとみらい駅」けやき通り口 徒歩3分  
JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町駅」徒歩8分

開館時間:午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日:毎週火曜日(但し、火曜日が祝日の場合は翌日)  
年末年始及び特定休館日

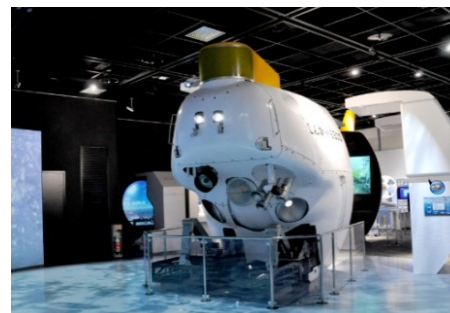
問い合わせ先:電話番号 045-200-7351



環境・エネルギーゾーン



航空宇宙ゾーン



海洋ゾーン



トライアルスクエア



トゥモロースクリーン



ハンズ・オンコーナー

**MOVE THE WORLD FORWARD**

**MITSUBISHI  
HEAVY  
INDUSTRIES  
GROUP**